



左巻き



右巻き



右・左巻き

今、民家のあたりにひどいわ目立つ派手な花「フウゼンカズラ」が咲いています。この季節は、どの植物も遅れてなるものかと先を競って伸びをしています。そんなに他の植物や建造物に寄りかかるて生存権を主張しているものがあります。つる性の植物の多くが、他の中にかかるつたり、氣根を出したり、

イワガラミ、ツルアジサイ、ツタウルシは気根を出して樹木や岩に這い上がっています。

アケビ（上）、スイカズラ（中）、ネジバナ（下左）、ヤマフジ（下中）、ヘクソカズラ（下右）

植物をどんどん観察してみると、ヤマノイモ、クズ、オオヅラフジ、アケビ、ミニバアケビ、ヤマフジ、ノアズキ、サルナシなどはみんな左巻きです。たまにはへそ曲がりがいるかと思ってたくさん観察してみましたが、きちんと左右を守っていました。

ところが面白いものを見つけました。「ネジバナ」の螺旋状の花が気まぐれをやっていました。右巻きの螺旋と左巻きの螺旋、トカゲの背びれのようない直線に咲いていました。

（NPO法人七塚原自然体験活動研究センター 理事長 西村 清巳）



自然界の不思議を探そう

ネジバナは気まぐれもの？！

自然界の旬

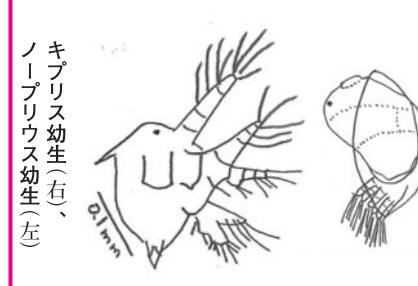
㉕ 右巻きと左巻き



植物はどうなっていると思いますか。右巻きか、左巻きかの判断は時計回りに巻きながら上っている（前進している）ものを左巻きとしています。まず、最も身近なつる性植物ヘクソカズラは右巻きです。その隣にくつついでいたり互にからまつたりしているスイカズラも右巻きです。身近な植物をどんどん観察してみると、ヤマノイモ、クズ、オオヅラフジ、アケビ、ミニバアケビ、ヤマフジ、ノアズキ、サルナシなどはみんな左巻きです。たまにはへそ曲がりがいるかと思ってたくさん観察してみましたが、きちんと左右を守っていました。

不思議です。

（NPO法人七塚原自然体験活動研究センター 理事長 西村 清巳）



意外な野外のガイダンス～海の生きもの編～

③ フジツボ

地域で環境学習に取り組む
清田さん

勤務先である（株）増岡組で、ビオトープの開発や管理に携わる一方で、社有地に設置したビオトープ（通称・エコラボ）をフィールドとして環境教育に取り組む清田さんに、これまでの取り組みや環境カウンセラーとしての思

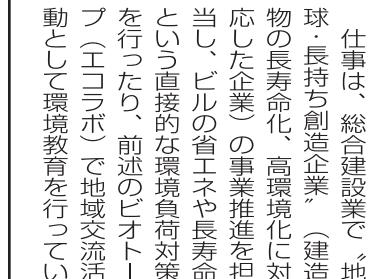
せいた やすひろ
清田 康博

【登録年数】
平成23年度・市民部門
【専門分野】
環境教育、自然観察（植物、鳥、水生生物、昆虫、星空等）、森林保護以外の自然保護、その他（ビオトープ関連）
【活動エリア】
広島県内全域

ちですが、エビやカニのなかま（甲殻類）です。
その証拠は、フジツボの成長する過程をみると分かります。卵は海中に放出され、漂いながら孵化（ふか）を迎えます。卵から出てきた幼生は、

見かけるフジツボの形になります。
岩などに固着したフジツボは、カニのよう動き回ることはありません。餌を食べる時は、蔓脚（まんきゃく）といふ投網のような形をした脚

貝ではなくエビやカニのなかま 東北地方では昔から食用



仕事は、総合建設業で、地球・長持ち創造企業。（建造物の長寿命化、高環境化に対応した企業）の事業推進を担当し、ビルの省エネや長寿命化という直接的な環境負荷対策を行ったり、前述のビオトープ（エコラボ）で地域交流活動として環境教育を行ってい

◆これから住民と一緒に取り

生物多様性をテーマに活動 ビオトープで環境学習

知識を生かす機会を与えてくれています。このビオトープ創造やモニタリング、基礎研究や商品開発で培った個人のノウハウを、環境教育や商品の営業展開に活かしたいと思ひ、カウンセラーになりました。

◆これから住民と一緒に取り

思っています。

◇ 小学校や児童福祉施設、高等学校などで環境教育を実践している清田さん。今後も、生物多様性を中心とした持続可能な開発のための教育活動に期待したい。

◇

◆ カウンセラーになつたきっかけ
子どもの頃から虫や動物が好きで、就職してからは建築を通して環境に関わってきた。現在行っているビオトープの開発や管理に携わることは、私に子ども時代の虫の

長さは、自分の体の八倍になります。
また、大型のフジツボは食用にされることもあり、塩ゆでにされたフジツボは力二のよつな味がします。東北地方では昔から食用にされます。

（環境保全課 平岡 嘉代典）
（あじ）を広げてフランクトンを通過します。その動きはまるで“おいで、おいで”をしているようです。また、交尾の時は、オスが鞭のように伸びる生殖器を近くのメスまで伸ばします。その



シロスジフジツボ【大型】（左）、イワフジツボ【小型】（右）

アスベスト分析（当会では6種類の分析が可能になりました） 「健康被害拡大で無警戒の石綿を対象とした法律の見直し」

平成20年2月に厚生労働省からアスベスト6種類分析の徹底に関する通達が出されました。これにより、アスベスト分析においては、従来の3種類{アモサイト、クリソタイル、クロシドライト}に新たに3種類{アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト}を加えた6種類の分析が必要になります。

※ご要望により試料採取の対応を行います。詳細は、お気軽にお問い合わせください。

